

## 令和2年度 第1回宇都宮市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会 会議録

### ■ 日 時

令和2年10月8日（木）午後2時00分～3時30分

### ■ 場 所

宇都宮市役所14階 14A会議室

### ■ 出席者

[委員] 今井委員，興野委員，渡辺委員，中澤委員，麦倉委員

鈴木（和）委員，池本委員，清水委員，坂田委員，益子委員

(欠席) 影山委員，鈴木（勇）委員，増山委員

[事務局] 障がい福祉課長，子ども発達センター所長，障がい福祉課長補佐

障がい福祉課企画グループ係長，自立支援グループ係長

相談支援グループ係長，福祉サービスグループ係長

障がい福祉課職員2名，子ども発達センター職員1名

### ■ 公開・非公開の別

公 開

### ■ 傍聴者

な し

### ■ 会議経過

#### 1 開 会

#### 2 委員・事務局紹介

#### 3 分科会長選出

互選により麦倉委員を選出

#### 4 職務代理者指名

麦倉分科会長から池本委員を指名

#### 5 議事

(1) (仮称)第6期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画の策定について

(2) 障がい者・児を取り巻く社会環境の変化及びニーズ調査結果等の概要について

- (3) 第5期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第1期宇都宮市障がい児福祉サービス計画の進捗状況及び評価について
- (4) 次期計画策定に向けた課題について

## 6 その他

## 7 閉会

《発言要旨》

委員

手帳所持者の内訳を教えてください。

事務局

令和元年度において、身体障がい者手帳所持者が約 15,000 人、療育手帳所持者が約 4,400 人、精神障がい者保健福祉手帳所持者が約 4,300 人となっている。

委員

研修会や職場体験に係る新型コロナウイルス感染症の影響はあるか。また、新型コロナウイルス感染症について、計画に何か記載する予定はあるか。

委員

新型コロナウイルス感染症によって、就労分野が冷え込んでおり心配である。

事務局

職場体験会など、現在、実施できていない状況である。自立支援協議会就労支援部会において、ガイダンスを今後どうするかなど、意見を聴取しながら進めていきたいと考えている。新型コロナウイルス感染症のことについては、計画には落とし込んでいない。

委員

中々、難しい状況であると思うが、新型コロナウイルス感染症とは長く付き合っていくことになると思うので、計画に少しでも落とし込んだ方が良くと思う。検討をお願いしたい。

委員

地域生活への移行者数について、精神障がい者の移行をもっと進めていただけるように考えてほしい。また、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムに関して、設置方法について検討中となっているが、当事者団体にまだ情報が入ってきていない。評価がBというのはおかしい。

事務局

地域移行者等の障がい種別については、次回分かりやすくお示しできればと思う。また、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについては、障がい福祉だけではなく、保健・医療分野の方々にも協力をいただきながら進めていく必要があり、今後、医療関係者や当事者団体の方々にとどのような協議の場で、どのような協議をするべきかについてご相談させていただければと思う。

委員

そのような考えで、相談しにきていただければ良いと思うが、評価はCになると思う。また、本日の内容にはないが、教育面において、一点、意見がある。WHOの調査によると、統合失調症の半数は15歳未満で発症するといわれている。2022年から高校の保健体育の教科書に「精神障がい」

が内容として追加されることになったが、それでも学び始めるには遅く、WHOの調査からも分かるとおり、高校生の時には、既に統合失調症を発症している人もおり、高校に入学しても、精神障がいについて誰も理解しておらず、誤解や偏見が生じてしまう恐れがある。このことについては、教育委員会にも伝えており、障がい福祉課も連携して取り組んでいただければと思う。

#### 委員

就労面においては、コロナ禍で、テレワークに対応できない等の理由で、週5日から週2日の勤務に変わったり、公共交通機関を控えるように言われたりと、就労形態が変化した方や、中には職を失った方もいた。就労定着支援についても、事業者が企業から訪問することを控えるように言われたりしたこともあったようだ。また、コロナ禍では、ほとんどなかった求人が、9月頃から徐々に復活してきている。もう一点は、65歳問題である。65歳を過ぎて、介護保険に移行させるのか、それを誰が判断するのか、その辺が課題であると思う。

#### 委員

資料4の課題の分け方は、国で示しているものなのか、それとも市で決めているのか。

#### 事務局

第5次宇都宮市障がい者福祉プランの流れを汲んで、市で課題として示したものになる。

#### 委員

導きだされた課題の根拠が希薄な部分がある。アンケート調査の結果等から読み取れない部分があるなど、客観的なデータがもう少し欲しい。例えば、親なき後の人数が分かれば、この問題の切迫性が伝わると思う。また、グループホームについても、今後どれくらい必要かについても、何かしらの形で掲載するべきだと考える。検討していただきたい。

#### 事務局

いただいた意見を踏まえて、内容や記載方法について検討していく。

#### 委員

いつ新型コロナウイルスに感染してしまうか不安な日々を過ごしている。医療的ケアを必要とする娘と暮らしているが、例えば、私が新型コロナウイルスに感染してしまい、緊急的に娘をみてもらいたい場合、どこに相談したら良いか分からない。また、自分の体調が悪くなって、娘の世話ができなくなったとき、緊急的に、来てもらえるサービスがあると良いと思う。

#### 委員

サービスの充実という切り口で課題が設定されているので、社会の在り方に対しての働きかけが見えにくいという印象を受けた。また、現在、民間企業で働いており、障がい者雇用に取り組んでいるが、感染拡大云々ではなく、業績悪化が理由で、障がい者が雇い止めになってしまう可能性もある。医療面と経済両といった両面の対策を練っていかないといけない。

#### 事務局

今回は、障がい福祉サービス計画の改定になるので、サービスの充実に寄った内容となっている。新型コロナウイルス感染症対応等、緊急時の相談窓口については、団体の方々との意見交換会においてもご意見をいただいております。本市としても、新型コロナウイルス感染症対応も含め相談支援の充実については非常に重要であると認識しているところである。新型コロナウイルスに感染してしまった際の対応については、個々の状況に応じた対応が必要となることから一概にはお答えできないところもあるが、保健所や関係機関と相談しながら、個別のケースに適切に対応していく。

**委員**

新型コロナウイルス感染症関係については、計画の中に、多少加味して表現いただければと思う。

**委員**

別紙3-1をみると、見込量よりも実績はるかに大きい部分がある。見込量は予算に関わる部分であるので、ある程度柔軟に見込むことはできるのか。

**事務局**

見込量については、過去3年間の実績の平均等で算出しており、実績が見込みよりも伸びている状況である。

**委員**

実態を踏まえながら、次期計画の見込量を精査していただければと思う。

## 6 その他

## 7 閉会